



## 2月の園だより



寒い日が続いています。インフルエンザも大流行でこまります。平成30年になり季節は過ぎ節分、立春と春めいた行事がありますが、寒さが遠のくのでしょうか？先月の大雪では、園児は寒さにも負けず雪合戦や雪だるづくりと大いに冬の遊びを楽しみました。インフルエンザで、きりん組は大変でしたが、徐々に回復してきています。良かったです。今後も予防が大切ですので、手洗いやうがい、マスクなど最低限出来る対策をしていきましょう。1月27日（土）は、ふれあいコンサートインやいたが開催されました。隊長さんの元気いっぱいのご挨拶や曲の紹介の後演奏が開始されました。私の周りにいました人が凄い、園児がやっているんだよまさかテープとか相当驚いていました。そのくらい素晴らしい演奏でした。感動の一瞬でした。ありがとうございますとともに、当番校である矢板中学校の保護者の皆様にはたいへんお世話になりました。職員、当園の保護者も感謝していました。すべての演奏をしていただいた園児、児童、生徒の皆様の心一つにした演奏に心打たれました。今月は、クラス懇談会がぞう組、きりん組、うさぎ組が入っています。また、保護者会視察研修会が17日（土）に入っています。日本の米の生産量は年間約700万トンですが、食品ロスはそれに匹敵する650万トンだそうです。いかに食品を廃棄しているのかがうかがわれます。適量の判断や食料への感謝の気持ちを小さなころから育てることも私達とご家庭との重要な役割となります。保育園では、日々の給食での廃棄はゼロに等しくたいへん良いことであると思います。栃木県でも懇親会などの場面では、初めの15分と終わりの15分自席にて残さず食べようという運動を行っています。矢板市においても同じような運動を行っていて良いことですね。食べられる量を知ることで、健康の維持や食品の廃棄が少なくなることで、数々のメリットがあります。「可燃ごみの減少など」保育園では、毎日楽しく給食の時間を過ごしています。大きいクラスは、自分で適量のおかわりをすることもできます。温かい作り立ての給食はおいしいです。食料自給率も40%と低く今後の日本の農業にも期待するところですし、輸入された農産物の多さに驚きも感じます。食の安心・安全の厳しさが一層高まっています。保育園でも今後とも厨房職員や納入業者とのさらなる連携を深めながら食の安心・安全を高め園児に提供していきたいと思っております

節分を控え、さあ——鬼の準備しなくちゃ くら鬼だ——

園長 守田 浩樹



☆次年度の衣類申し込み書を2月2日(金)に発送致します。

申し込みは、代金を添えて**2月8日(木)の朝まで**にお持ちください。

☆後期写真の販売を下記の通り行います。

日時 2月20日(火)AM 7:00~2月22日(木)PM 6:30

場所 乳児棟廊下

代金 1枚50円（おつりのないようご協力お願い致します）

時間内でしたらいつでもご覧いただけますので、ご自由にご覧ください。

申し込みは、代金を添えて**2月23日(金)の朝まで**に事務所に提出してください。



☆3月24日(土)は、卒園式のため、ぱんだ組以下のクラスは休園とさせていただきます。

ご協力お願い致します。